

令和6年度

第2回苦情処理委員会議事録

進行 佐藤 かほる（ふじなでしここども園）

記録 日山 洋子（滝沢中央学童第一）

1、日時及び場所 令和7年2月14日（火） 午前10時30分～11時00分
ふじなでしこ こども園 応接室

〈出席者〉

- ・第三者委員 佐生 正代委員 目時 礼子委員
- ・ふじなでしこ こども園 責任者 ウッドオール 美枝園長・受付担当者 佐藤かほる
澤村 有紀
- ・撫子学童クラブ 責任者 朽木 慎悟・受付担当者 小野 来瞳
- ・滝沢中央学童保育クラブ第一 責任者 朽木 慎悟・受付担当者 日山 洋子

2、園長あいさつ

- ・発表会や普段の保育の様子を見ていただき、ありがとうございます。
- ・3学期のまとめの時期に入り、子どもたちも進級や進学を意識して生活している。
- ・秋には園内研修で支援員の方々に見ていただいたことで、保育の見直しをしながら保育を行うことができて良かった。
- ・鶉飼小学校ではインフルエンザで学級閉鎖があったが、園内ではそれほど広まらなかった。
- ・今年は雪が少ないかと思われたが、2月に入り雪が積もり雪遊びを楽しんでいる。

3、施設長あいさつ

報告 職員の宍倉主任支援員が1月で退職したため、受付担当者が小野支援員に変わります。

- ・いろいろな行事を子どもたち主体で企画や準備をして行う機会が増えた。自分たちで考えてやっているため、意欲的に取り組んでいる姿が見られた。
- ・鶉飼小学校の子どもたちは減少しているが、就労する保護者は増えているため、次年度も学童の利用人数はほとんど変わらない。

4、議事

① 苦情報告

○澤村 有紀（ふじなでしこ こども園主幹保育教諭）

- ・苦情はありません。
- ・各学年、進級に向かって子どもたちの力がついてきている。
- ・本日、抜き打ちの避難訓練を行った。慌てることなくできた。それぞれが成長してきていることが感じられた。

○小野 来瞳

- ・苦情はありません。

- ・夏休みから冬休みにかけて、ホールで野球をして遊ぶことが増えた。他の学年との交流が増え高学年が低学年にやさしく教えている姿が見られた。
- ・夏休みと冬休みの学童レク、ミニ運動会や野菜の収穫等子どもたちが中心になって行えた。
- ・週に1回、園の1歳児と交流する機会をもった。園の子どもたちと親しくなり、廊下ですれ違う時には声をかけたり、一緒に遊びたいことのリクエストを出し毎回楽しみにしていた。
- ・主任支援員の退職に向けて子どもたちが中心になってお別れ会を企画し、ステージ発表を行った。

○日山 洋子（滝沢中央学童保育クラブ第一主任支援員）

- ・苦情はありません。
- ・夏休みからこれまで大きな事故やケガもなく過ごすことができた。
- ・これまで長期休み以外はバスで出かけるような行事は行っていなかったが、今年度は中央小学校の休校日に小岩井へ行った。学校では何度も行っているところではあるが、学童の子どもたち同士では初めてだったので楽しそうだった。
- ・今までやってきた班活動にも慣れ、職員が声をかけなくても積極的に係の仕事をしている。3学期に入り、上級生に班のメンバーを決めてもらい、班のポスターを作って新しいメンバーで活動を始める準備をしている。
- ・今年度は中央学童に入所する子どもたちについて、各こども園の先生方と引継ぎを行う予定。

②第三者委員より

○佐生 正代 委員

- ・苦情がなかった。先生方も日々安心して過ごしていて良いことだと思う。・以前、職員の関わり方についての話があったと思うが、その対象児童の保護者と話す機会があった。保護者から、当初は子どもから学童に行きたくないとかホールで遊びたくない等の話があったが、職員の方々に良くしてもらい今では学童にも普通に行けるようになったと感謝の言葉があった。

○目時 礼子 委員

- ・学年問わず交流ができるのが学童の良さだと思う。子どもたちの主体性を大切にしているのも良い。

② その他

- ・令和7年度苦情処理委員について
委員の任期が11月までなので、それまでは引き続きお願いしてその後次の方をお願いする。
- ・次回の苦情報告会の日程について
次年度になって、時期が近くなったらお知らせする。

5、閉会